日本医療機能評価機構認定病院

那珂川病院だより

VOL.55 平成25年9月

〒811-1345 福岡市南区向新町2丁目17-17
TEL.092-565-3531（代）
FAX.092-566-6460
http://www.nakagawa-hp.com
（携帯電話でもご覧いただけます）

病院理念 ― 思いやりそして努力　奉仕そしてよろこび

27年間を振り返って

那珂川病院　外科　大国 貴史

私が那珂川病院に就職しましたのは昭和61年5月で、当院の院長であられた木村専太郎先生の下で外科・救急医として修行をさせていただきました。お陰さまで何とか一人前の医師になれたかと思います。気がつくと27年の月日が経っていました。この間に病院が建て替わること3回。就任当初は院長を含め4人であった医師が、現在19人の大所帯となりました。外観だけでなく医療の内容も、内科・外科・脳神経外科・整形外科・放射線科等の一般診療はもとより、血液透析、リハビリを中心とした回復期医療、緩和ケア医療、在宅ケア医療、健診医療の充実等、時代のニーズに応えて進化していき、地域の中核病院の一翼を担えるまでに成長できたかと思います。歴代院長を先頭に病院スタッフが一丸となり頑張った賜物と思います。

現在の下川敏弘院長の基本理念は、「医師自身がやりたい医療をやれる病院にしたい」ということで、平成23年4月より竹内一馬医師を中心に新しくフットケア部門を立ち上げ、下肢にトラブルを抱える患者さんが数多く受診されておられます。私は20年ほど前から医局長をやっておりますが、各医師ができるだけ気持ちよく仕事ができるよう配慮することを心掛けております。

病院経営は、院内感染管理を含め医療安全の確保等、さまざまな問題を抱えており大変な労力を要しますが、スタッフ一同倦むことなく頑張っていきたいと思います。そのためには仕事をするばかりでなく、楽しむことが必要と思います。職員の福利厚生として、年数回のホークス観戦、アビスパ観戦、夏のビールパーティー、年末の忘年会、糸島リゾート別荘利用等が企画されております。

わたくし事ですが、17年前から病院スタッフで「四十肩」というエレキバンドを結成しており、医療系のオリジナル曲を多数作り時々ライブ活動を行っています。那珂川病院の夏祭りや、敬老会でご披露しています。明るく・楽しく・心穏やかに過ごせる病院が理想です。地域を支え・支えられながら活動をしてまいります。バンドを含め那珂川病院を宜しくお願い致します。

デンファレ

妻からの最後の手紙

村田　泰三

皆様　こんにちは。偲ぶ会にお招きいただきました大野城市の村田と申します。

妻の入院中は病院スタッフの方々に親切な看護をしていただき、心から感謝しお礼を申し上げます。妻の病名は多発性骨髄腫という血液のガンでした。

妻には50年の結婚生活のなかで心配事や苦労をかけましたが、一言も愚痴を言わず、ついてきてくれたことに感謝しておりますし、私には過ぎた妻であったとも思います。そういうことを皆様の前でも堂々と言うことが出来るほどの妻でした。

また、家族の健康のためにバランスを考えた美味しい料理を作ってくれる優しく、思いやりのある母親でしたし、何事にも一生懸命に挑戦する、真面目で努力家の女性でした。

私について申しますと、一人になった今、昼間は福祉団体のお世話やスポーツなどをして気を紛らわしておりますが、夜になり一人で食事をすると、寂しくてどうしようもない時があります。そのような時に支えとなっている妻から私への最後の手紙を紹介させていただいて終わりにしたいと思います。

（平成24年2月　追悼会のスピーチより）

あなた、ありがとう。何もかもありがとうございました。
この言葉が私の全てです。
優しい貴方に私はいつもケンモホロロの返答でいけないと気が付いたのは最近です。
聖書で「剣で刺すように無思慮に話すべきではありません」という言葉をきいて、私はいつもこんな言い方だったと後悔し、これからは短い人生だから優しくしようと思った矢先の事で何もして上げられなかった。本当に申しわけありません。
五十年、長いようで短い二人の生活でしたが、唯々ありがとうございました。
一人後に残して先に行く事、許して下さい。
ありがとう、ありがとう。

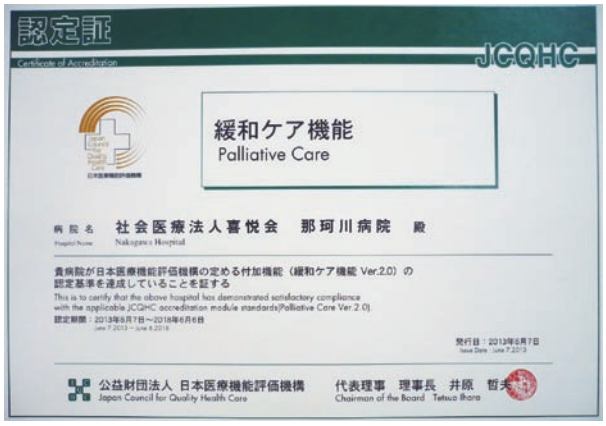
和子
六月二十七日

字がだんだん書けなくなってきたので、もう一言書き残します。
私は聖書を学んだこと、バプテスマを受けようとした事は後悔もしていないし、貴方にあやまろうとも思いません。でも口に出せない位、感謝しています。
貴方も死が近づいた時、私のことを思い出して、復活してあえるんだと信じて下さい。
私達二人をいっしょにして下さったのは　エホバ神だから、「二人をくびきで結ばれ一体となる」とあります。
本当に迷惑をかけました。心から感謝しています。
きっとあいましょう。
五十数年間ありがとう。

和子
三月二十一日
最後迄　私は幸せ者でした。

緩和ケア機能　認定されました!

この度、当院は日本医療機能評価機構の
付加機能（緩和ケア機能）の認定を取得しました。
（認定期間：2013年6月7日～2018年6月6日）



緩和ケア病棟基本方針

1. 患者さん、ご家族に寄り添い、信頼される質の高いケアを提供する。
2. スタッフ一人一人が役割を自覚し、個々の良さを充分発揮できる。
3. チーム一丸となり、助け合い、認め合い、共に考える環境をつくる。

緩和ケア病棟の目標

1. 患者さんに苦痛がなく、持てる力を信じ、発揮できるようサポートする。
2. 患者さん、ご家族の思いに心を傾け、寄り添う。
3. 患者さんの生活環境への気配りをし、人生の振り返りができる状態を整える。

ボランティアだより

今回は傾聴ボランティアとして活動いただいている『ビハーラ福岡』の活動内容をご紹介します。

毎月第2月曜日14:00～15:30まで、患者さんやご家族と趣味や今までの経験談などいろいろな会話をされます。

団体名の『ビハーラ』は、サンスクリット語で「精舎・僧院」「身心の安らぎ・くつろぎ」「休息の場所」を原意とし、誰もが抱える「生・老・病・死」の苦悩について、一緒に寄り添い応えていきたいという願いがこめられているそうです。患者さんやご家族の心の不安に共感し、少しでもその苦悩が和らげば、そしてボランティア自身が苦しみや悲しみを縁として、自らの人生の意味を振り返り、死を超えた心のつながりを育んでいくというビハーラ活動の基本理念のもと、活動されています。医療従事者とは違う立場で患者さんやご家族の心に寄り添ってくださる大切な存在です。

当院緩和ケア病棟では随時ボランティアを募集しています。ご興味のある方、実際のボランティア活動をご覧になりたい方、お気軽にご連絡ください。また、9月から翌年2月まで全6回、下記日程にてボランティア養成講座を開催します。たくさんのご参加をお待ちしております。

●ボランティア養成講座

期　日	テーマ・講師
平成25年 9月21日（土）	『緩和ケアとは』 ●緩和ケア病棟師長　植木 昭代
10月19日（土）	『身体症状の緩和』 ●緩和ケア病棟医長　原口 勝
11月16日（土）	『家族ケア』 ●臨床心理士　髙﨑 彩
12月21日（土）	『精神的ケア・スピリチュアルケア』 ●緩和ケア病棟師長　植木 昭代
平成26年 1月18日（土）	『社会的援助・チームアプローチ』 ●ソーシャルワーカー　担当者 ●訪問看護師主任　松下 徳代 ●管理栄養士　林田 由美子
2月15日（土）	『ボランティアとは』 ●福岡ホスピスの会　神谷 佳子

会場　那珂川病院／5階研修室
時間　14：45～15：45
問い合わせ　ボランティアコーディネーター　山下 公子（ひろこ）

新任のご挨拶

那珂川病院　緩和ケア科　犬塚 貞明

本年５月16日より那珂川病院緩和ケア科に勤務しております。平成元年に九大２外科に入局以来、いわゆる医局人事で転勤を繰り返しながら、主に消化器癌や乳癌の手術や抗癌剤（薬剤）治療に携わってきました。

これまでご紹介いただいた患者さんには、手術など外科的治療の段階からの診療ですが、検査・診断から診させていただいた患者さんも多く担当させていただきました。外科医として25年研鑽を積んでまいりましたが、医療の進歩については身をもって経験してまいりました。近年の癌治療の進歩のおかげで進行再発癌であっても、次第に長期間のお付き合いができるようになってまいりました。このことは「生存」そのものからは大変喜ばしいことですが、患者さん、ご家族にとっては病気に悩まれる期間が延長したことにもなります。

このたび手術や抗癌剤では救いきれなかった患者さんに対して、あるいは再発なく過ごされておられても身体症状・精神的症状に苦しんでおられる患者さんに対して、さらなる医療の手を差し伸べることができるとすれば、それは緩和医療（ケア）に他ならないと考えた末に、緩和ケア科への転身を決意致しました。

外科医としてはメスを置くことになりますが、新たな武器を身に付けて、貢献できればと考えております。これまでも手術、抗癌剤治療とともに緩和ケアについても積極的に取り組んできましたが、これからは緩和医療に専念してまいります。

最後にプロフィールを述べますと、福岡で生まれ育ち（どこ中？百道中！）、学生時代にはテニスに興じていましたが腕前はさっぱりです。音楽はジャズを好みますが楽器はさっぱりです。今は美味しい食事とお酒があれば幸せです。あやしい外見で国籍不明とも言われることがありますが、中身はまっとうですので、よろしくお願い致します。

寿司バイキング 病棟で開催しました

～緩和ケアだより～

新任医師紹介

内科医師　安藤 智恵

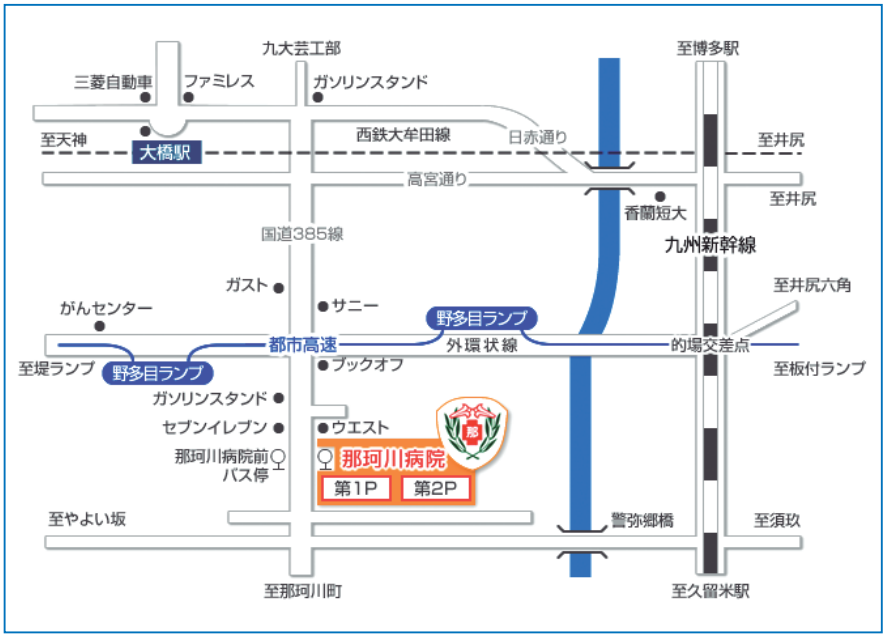
本年５月より、当院に勤務している安藤と申します。福岡県行橋市で出生し、田川郡、福岡市で過ごしています。平成７年に福岡大学を卒業しました。福大の心臓・血管内科学（循環器内科）の医局から来ています。今年で19年目です。

高齢社会を迎え、家庭、地域の中にも、その様がわかるように思うこの頃です。病院の様子がわかるので人は誰でも年をとり、病院のお世話になるのだと思うようになりました。元気で過ごせた人も最後は、病院で亡くなるのだと思いました。

私は、福岡市内とその近隣の市町村で、これまで過ごしています。これまでお世話になった人やご家族が健康であり、医療を受けられるようにお手伝いができればと思います。微力ですが、お役に立てますよう働きたいと思います。よろしくお願いいたします。

車の運転が趣味でしたが、趣味に費やす熱意と時間がなかったので、今後は積極的に体を動かし、余暇を楽しむようにしたいと考えています。

以上、自己紹介とさせていただきます。



【交通】西鉄バス系統番号4番・47番・62番・620番「那珂川病院前」下車すぐ　■駐車場150台

常勤医師診療担当表

医師名	担当領域
下川　敏弘	消化器外科、呼吸器外科、透析
大国　貴史	消化器外科、透析、漢方
古賀　健資	消化器外科、呼吸器外科
吉村　寛志	大腸・肛門外科、消化器外科
宮脇　龍一郎	循環器内科
筒井　伸一	消化器内科
大内田　敏行	放射線科
片桐　邦彦	脳神経外科
金宮　八重子	脳神経外科
原口　勝	緩和医療
古賀　善彦	リハビリテーション科（回復期）
熊澤　浩明	外科
福永　昌幸	麻酔科・外科・救急
竹内　一馬	血管外科・循環器内科
横山　良平	整形外科
月江　教昭	緩和医療・内科
溝上　浩士	整形外科
安藤　智恵	循環器内科
犬塚　貞明	緩和医療

平成25年9月1日現在